



転倒防止金具・前ズレ防止金具型紙の使用法

1. 型紙の準備

1. 前ズレ防止金具、転倒防止金具の位置決めを行う為、隣接するキャビネットの扉厚さ、パッキン厚さを測定し、右の表に合わせて型紙前端的の不要な部分を切り取ります。
2. 型紙の前端をキャビネットの木口前端に合わせて右下のイラストのようにテープで型紙が動かないように固定してください。

2. 型紙の固定と穴あけ位置目印のつけ方

■収納キャビネットに下穴があいている場合

型紙に描かれている“前ズレ防止金具位置”及び“転倒防止金具位置”にそれぞれの固定金具を置いて、記載の穴位置とズレていないか確認してください。

■収納キャビネットに下穴があいていない場合

1. 型紙に描かれている“前ズレ防止金具位置”に金具を置いて、金具に刻印されている矢印の穴位置（左右4カ所）に目印（キリ又はポンチ）をつけてください。
その後、前ズレ防止金具の同じ矢印の刻印にもマジック等で印をつけておいてください。
2. 型紙に描かれている“転倒防止金具位置”に金具を置いて、金具に刻印されている矢印の穴位置（左右4カ所）に目印（キリ又はポンチ）をつけてください。
その後、転倒防止金具の同じ矢印の刻印にもマジック等で印をつけておいてください。
3. 型紙を外して、先につけたネジ穴位置（前4カ所、後4カ所の計8カ所）にφ2.5、深さ12mmの穴を精度良くあけてください。

3. 転倒防止金具の取り付け

同梱の転倒防止金具を、先に印、下穴をあけた位置にあわせてセットし、同梱のネジ④（4本）で電動ドライバーを使わず、手締めしてください。

4. 前ズレ防止のための事前準備

同梱の前ズレ防止金具を、先に印、下穴をあけた位置にあわせてセットし、同梱のネジ④（4本）で電動ドライバーを使わず、手締めしてください。

転倒防止金具用ネジ穴位置

キャビネットの扉厚さによる型紙位置あわせ表（パネルタイプの場合）

扉厚さ	パッキン厚さ	前端からの寸法	キリトリ線
15 mm	4 mm	52 mm	なし（型紙前端）
18 mm	4 mm	49 mm	-----
21 mm	4 mm	46 mm	-----

※上の表は機器のドアに4 mm厚さのパネル（化粧版）を取り付けた時にパネル前端と隣接するキッチン扉の面が合うようになります。パネルの厚みが4 mmと異なる場合や、キッチンの扉厚みやパッキンの厚みが異なる場合は下表にしたがって計算を行い、ネジの下穴をあける位置の調整を行ってください。

【計算例】

現物寸法を測り、下記の式からその差異を求め、前端からの寸法からその合計を引いた寸法が下穴をあける位置となります。

食洗機パネルの厚さ3 mm、キッチンの扉厚さ18 mm、パッキンの厚さ6 mmの場合。

	基準寸法	現物寸法	差異
①食洗機パネル厚さ	4 mm	3 mm	1 mm
②扉厚さ	18 mm	18 mm	0 mm
③パッキン厚さ	6 mm	4 mm	2 mm
①+②+③ 合計			3 mm

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{基準寸法} \\ \hline 49 \text{ mm} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{合計寸法} \\ \hline 3 \text{ mm} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{下穴位置} \\ \hline 46 \text{ mm} \\ \hline \end{array}$$

※面材タイプを設置する場合は、前端からの寸法が「53 mm」を基準として(③パッキン厚さ)の差を上記の式にしたがって引いてください。

パッキン厚さ6 mmの場合は、上記計算例の③をご参照いただき、基準寸法「53 mm」から「2 mm」を引いた寸法の「51 mm」が下穴位置となります。

